

夜空に舞い上がった大輪が川面も鮮やかに染めた花火大会  
 11日、新潟市中央区



### 地震復興 大輪で後押し 新潟まつり花火大会

新潟まつりの最終日を飾る花火大会が11日、新潟市中央区の信濃川河畔で開かれた。色鮮やかな大輪が夜空に次々と開き、港町の夏を彩った。

まつりの実行委員会によると、約34万人が訪れた。

続けざまに多彩な花火を打ち上げるスターマインや、よりダイナミックなワイドスターマインが繰り広げられるたびに、来場者から拍手や歓声が上がった。フィナーレを飾ったワイドスターマインには、元日に発生した能登半島地震からの復興の願いも込められた。

河川敷に響く音楽に合わせた「音楽花火」は、バーチャルアイドルの「初音ミク」とコラボレーションした特別仕様だった。拡張現実（AR）を活用し、スマートフォンをかざして初音ミクと花火を一緒に楽しむ人もいた。

新潟市西蒲区に帰省し、妻と娘の家族3人で訪れた富山市の団体役員田邊友也さん（40）は「花火が間近で見られて迫力があつた。川沿いの開けた景色と合わせ、とてもきれいだった」と笑顔で話した。

新潟まつり花火大会

新潟市中央区

大輪で後押し 地震復興 新潟まつり花火大会

若い頃のように  
 フクフク感ゼロ？  
 テレビで杯の  
 カンパキ

本誌の1ページ目が掲載された。新潟まつり花火大会の開催が決定した。新潟まつり花火大会は、新潟市中央区の信濃川河畔で開催される。今年も約34万人が訪れると見込まれている。花火大会は、新潟まつりの最終日を飾る。今年も特別仕様の花火が打ち上げられる。初音ミクとコラボレーションした特別仕様の花火が打ち上げられる。拡張現実（AR）を活用し、スマートフォンをかざして初音ミクと花火を一緒に楽しむ人もいた。